

総会・集いへ思いを寄せて

【会長挨拶】 香山 充弘

「県人会総会・集い」について、慣例の9月開催をずらし、令和4年1月に開催すべく諸般の準備を進めておりましたが、年明け以降、新型コロナウイルスオミクロン株による感染が急速に広がったため、中止を決断せざるを得なくなりました。

コロナ禍のため、この2年間思うような県人会活動が出来ておらず、会員の皆さまには大変申し訳なく思っております。

この冬号は、「総会・集い」の様子をお届けする予定にいたしておりましたが、叶わなくなりましたので、せめて会報を通じて情報交換ができればと思います、特集号とさせていただきます。

今後私たちの大事な絆を絶やさぬよう、工夫をしながら、県人会活動を続けて参りたいと存じますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東京岡山県人会



岡山後楽園

☆役員交代

【副会長退任】 宮原 耕治

県人会の皆様には長い間大変お世話になり有難うございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は児島の海辺に育ち、子供の頃から夜は波の音を聞きながら眠りに落ちました。そのせいかどうか、成人して船会社に就職し世界の海を飛び回って、人々の暮らしと経済を支える仕事に従事して参りました。

日本は今、エネルギーも食料も自由に手に入れることが出来、自国が島国であることも忘れるほど豊かな暮らしをエンジョイしています。

しかし、この豊かさを築くために先人たちがどれほど苦労したか、またこの豊かさを守るために私たちが何を為すべきか、常々考えなくてはならぬと思います。



発行者：東京岡山県人会
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10階
岡山県東京事務所内
TEL 03-5212-9080
FAX 03-5212-9083

【副会長就任】 梶田 信一郎

私は、高校までを岡山市で過ごしました。現在は少子化が問題となっていますが、私の世代は団塊の世代と呼ばれ、小学校・中学校はすし詰めの教室で学び、高校は新設された岡山大安寺高等学校(残念ながら、2015年3月をもって閉校となっています。)に第一期生として入学しました。

大学卒業後は、地方自治の仕事をして自治省(今の総務省)という役所に入り、国・地方の公務員として、40年勤務しました。兵庫県庁に勤務していた1995年1月17日に阪神・淡路大震災が発生し、被災された方に対して全国から様々なご支援をいただきましたが、個人的にも同級生や知人などふるさと岡山の関係者からお見舞いや励ましをいただき元気づけられたことは忘れることができません。その後、公務員生活の後半は各府省が立案した法律案の審査や憲法・法律の解釈等を担当する内閣法制局という役所に勤務しましたが、公務員退職後は、地方自治関係の仕事に携わり、現在、都道府県・市町村

が行う地域振興事業等を支援する団体で、勤務しております。



郷土岡山の発展のためお役に立てるよう努めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【副会長就任】 藤原 真一

1954年生まれで、故郷は岡山市の西大寺です。吉井川の川辺やはだか祭りの観音院の境内が遊び場でした。18歳になり東京の大学に出て以降は、就職後も岡山には帰らず、東京・九州・米国・ドイツを転々としながら、間もなく50年になろうとしております。

ただ、岡山を離れてからも、親・弟妹・親戚に会うために年に数度は岡山を訪れておりまして、戻るたびに感じるのは、離れてわかるふるさとの自然・文化・気候の良さです。更に貴重な宝と感ずるのは、多くの岡山出身の先輩・仲間との温かいつながりです。

そういった中で東京岡山県人会での「ご奉公」のお話をいただきました。半世紀にわたり不義理を重ねてきた「岡山」に何らかの形で恩返しをさせていただければという思いで、この要職を引き受けさせていただきます。

これを機にふるさと岡山出身の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと存じますので、皆様の温かいご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



集い会場から誌面に舞台を変えて・・・各団体からの情報発信

岡山市 新岡山城 令和4年11月3日OPEN

現在、岡山市では、再建から50年以上が経過した岡山城について、「令和の大改修」と称して、天守閣等の耐震補強工事を行うとともに、展示リニューアル、本丸内のバリアフリー化等を実施しています。

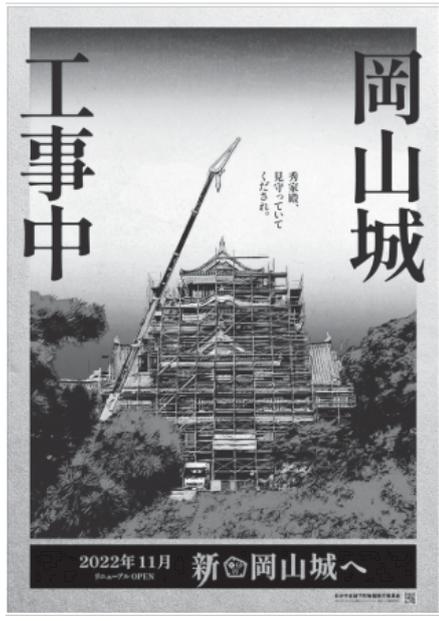
新しくなる岡山城は、「歴史を伝える城、集う城」をテーマに岡山の歴史を初心者にも分かりやすく発信するとともに、岡山城ならではの体験を提供していくこととしています。

展示のリニューアルでは、岡山市出身の歴史学者磯田道史さんに監修いただき、岡山城築城以降の岡山の歴史をひもとき、歴史をストーリーで伝えていくものとなるよう進めているところです。

また、新しくなった天守閣は夜間貸出を実施し、パーティーや懇親会などにご利用いただくとともに、お城を舞台に多彩なイベントを実施していきます。

宇喜多直家がまちづくりを始めて450年目の今年、昭和41年の再建日と同じ11月3日にリニューアルオープンする岡山城、どうぞご期待ください。

〔岡山城リニューアル特設サイト〕



井原市 夢を抱けるまち 元気なまち いばらを目指して

井原市美星町は、令和3年11月1日(米国アリゾナ州現地時間)、国際ダークスカイ協会より「星空保護区(コミュニティ部門)」としてアジア初となる認定を取得しました。

この認定を受け、アジアでトップクラスの星空環境の保全に取り組んでいるまちとして、新たに「ワーケーション事業」等を展開するほか、本年7月から9月に開催される「岡山デザインেশションキャンペーン」では、期間中の全県的な企画案として「夏の星空の活用」が発表されていることから、本市としても美しい星空のブランド力を生かして、観光誘客の促進や消費拡大など、地域活性化に取り組みまいります。

またこの度、移住・定住対策事業及び経済・雇用対策事業をリニューアルし、新たに「いばら援メニユー」、「元氣いばら 商工業成長支援事業」を展開いたします。

多くの皆様に井原市を知っていただけるよう、市内外への情報発信を充実・強化させ、行ってみたい、住んでみたい、住み続けたいと思っただけられるよう取り組んでまいります。

東京岡山県人会の皆様のお越し(お帰り)をお待ちしております!!



新見市 「新見市ふるさと市民証」を募集しています

新見市では、令和3年2月13日(にいなみの日)から新見市への愛着を高め、継続的な関わりを持つてくださる「新見市ふるさと市民証」を募集しています。

人と人とのつながりやふるさととの関わりが見直されている中で、新見市外にお住まいの方で、ゆかりのある

方、新見市を応援したいと思っただけの方など、どなたでも登録できます。

登録料や年会費などは無料で、ふるさと市民証、新見市のすてきな風景を楽しめるオリジナル名刺(30枚)を交付し、イベント情報など定期的な情報提供を行います。

また、おもてなし協賛店での特典や、市内施設の利用助成もあり、ご利用いただいた方への特産品のプレゼント企画などもあります。

新見市に興味を持っていただき、あなたにできる宣伝や魅力向上へのご支援をお願いします。

あなたも新見の応援団!

ぜひ、新見市ふるさと市民証に登録ください!



新見市ホームページ

▼パソコンの場合▼

新見市ふるさと市民証 検索

▼スマホの場合▼

集い会場から誌面に舞台を変えて・・・各団体からの情報発信

備前市

「備前焼フェア」を開催します

備前市では、備前焼のふるさと伊部（いんべ）を中心に、4月14日から5月18日まで「備前焼フェア」を開催します。市内約50軒の作家・窯元が参加し各種イベントを用意して皆様をお待ちしております。

【備前焼福袋抽選】

期間中、市内の備前焼フェア協賛店（「備前焼フェア」のぼりが目印）で3千円以上の備前焼を買うと1万円分の備前焼福袋が当たる抽選券（はがき）を差し上げます。窯元やギャラリー、作家を巡ってお気に入り品を見つけてください。

【出張備前焼販売】

4月29日、30日、5月3日、4日にはJR伊部駅前広場にて市内の備前焼作家が出張販売テントで備前焼の販売を行います。作品を手に取り、作り手の話を聞きながら、じっくりと品定めできます。

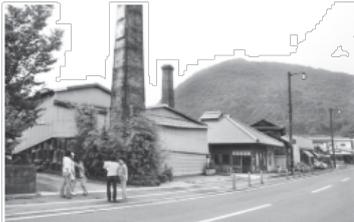
【備前焼ミュージアム企画展】

JR伊部駅東徒歩1分にある備前焼ミュージアムでは4月14日からの企画展「新収蔵展」のほか、備前焼の歴史の紹介や人間国宝の作品も展示しています。伊部にお越しの際はお立ち寄りください。（詳しくは備前焼ミュージアム（0869-641400）まで）

この他のイベントや窯焚き・窯出し情報を市ホームページに掲載します。窯元や作家の元に訪れて備前焼の奥深さや魅力をぜひ体感してください。問合せ 備前市備前焼振興課 電話 0869-64-1887



どれにしようかな



伊部の街並み

赤磐市

「あかいわ」とつながる、つながる

東京に居ながらにしてあかいわとつながるには・・・。

まずは「食」から。赤磐市といえば雄町米！その雄町米を使って酒造りをしている利守酒造のHPでは、「東京都内で飲めるお店」が紹介されています。ぜひチェックをしてみてください。

次に、あかいわに思いを馳せていただきたく、赤磐市の情報を発信するラジオ番組「元気で。あかいわ」を紹介いたします。コミュニティFMのレディオモモで第1・3金曜日午前8時30分から放送しています。また第1・3日曜の15時～15時30分には、赤磐市出身であかいわ広報大使を務めるバイオリニストの福田廉之介さんがパーソナリティの番組も放送しています。日本コミュニティ放送協会のサイトから視聴することができます。



利守酒造



日本コミュニティ放送協会

他にも、東京などで活躍をされている方があかいわ広報大使を務めており、赤磐市出身で史上初東京大学出身の真打、落語家の春風亭昇吉さん、赤磐市が舞台の映画に出演して下さった俳優の升毅さん、女優の海老瀬はなさん、主題歌を担当したミュージシャンのこいちゃんです。

その他、赤磐市の情報はとっとり・おかやま新橋館や東京都中野区のおかやまぐらし相談センターで紹介していますので、ぜひお立ち寄りください。



春風亭昇吉さん



福田廉之介さん

早島町

小さな町から、大きな未来へ

早島町では、今年1月に第5次総合計画を策定しました。「安全・安心に暮らせ、豊かさと幸せが実感できるまち」という基本理念の下、計画をより親しみやすいものとするために、中学校の生徒からキャッチフレーズを募集し、この記事のタイトルにもなっている「小さな町から、大きな未来へ」早島、今から変わります」を計画のキャッチフレーズとしました。幼稚園児と小学校の児童からはイラストの作成で協力いただき、10年後の町の姿を夢溢れる絵に描いてもらいました。

早島町は、令和2年国勢調査において、前回の平成27年調査に比べ人口が1.8%増加し、年少人口も16.4%と、持続可能な人口構成に移りつつあります。町では、社会動態が増加しているこの好機を捉え、第5次総合計画期間内にJR早島駅のバリアフリー化を含む拠点化事業の実現や、JR早島駅と役場周辺の市街化区域編入などを予定しています。また、国道2号の交差点立体化や都市計画道路の事業化が大きく進展することが想定され、今後10年間はまちづくりの基礎を固める重要な10年間となります。

町は今、未来に向かって変わろうとしています。



早島IC付近航空写真

集い会場から誌面に舞台を変えて・・・各団体からの情報発信

勝央町

公式 Facebook を刷新!!

勝央町は、岡山県の北東部に位置し、栽培面積約185haを誇る全国有数の黒大豆や果物栽培を始めとする「農業」、全国的にも有数の規模を誇る内陸型工業団地を中心とした「工業」、県北を代表する体験交流型農業公園「おかやまファーマーズ・マーケットノースビレッジ」などの「観光スポット」に加え、「自然」と「文化」がバランス良く調和したまちです。

そんな勝央町のさらなる魅力アップに取り組むために、勝央町役場元気なまち推進室では、Facebookを運用し、イベント情報や各種募集情報といった町政情報だけでなく、四季折々の風景のような心安らぐ写真など、幅広い情報を町内外に向けて日々発信しています。

キャッチコピーは、「勝央町がもつと近くなる。好きになる。」。町外に住む方々には、勝央町をより身近に感じてもらい、その一方で、町内に住む方々には、町のことをもつと好きになってもらいたい、との思いを込めています。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、気軽に帰郷できなくなった今こそ、元気なまち推進室が発信するFacebookを覗き、勝央町に触れてみてはいかがでしょう。



岡山県 中山間・地域振興課

岡山県の移住促進の取組について

将来的な移住・定住に繋がる関係人口の創出に向け、二地域居住に関心のある方等を広くターゲットにしたセミナーを2月下旬に開催しました。

セミナーは「つながりづくり! OKAYAMA ネットだけじゃなく、ヒトにもききたいくないですか?」と題し、首都圏ー岡山の二地域居住や岡山で地域づくりを実践するゲストの方々のトークセッションをオンライン配信。

参加者からも配信中多くのコメントが寄せられるなど、盛り上がりを見せたイベントとなりました。県では、今後も移住だけでなく二地域居住に関するイベントの開催や情報発信を行ってまいります。ご興味のある方はぜひご参加ください。また、ご親族・知人に岡山県への移住や二地域居住にご興味のある方がおられましたらぜひご紹介ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

● URL : <https://www.okayama-ji.jp/>



情報発信ポータルサイト

岡山県 デスティネーション

キャンペーン推進協議会

岡山DDCが開催されます!

今年7月～9月に、JRグループと岡山県、県内市町村、観光関係事業者等が連携し開催する大型観光キャンペーン「岡山デスティネーションキャンペーン(岡山DDC)」では、新たな旅のニーズを踏まえた岡山ならではの魅力的な企画やイベントを多数お届けしてまいります。

これに先駆けて、岡山DDC事務局では、岡山を一緒に盛り上げていただける「応援団」を募集するとともに、応援団から届いた岡山の良いところ・ものをすすめる写真やコメントを特設サイトで紹介するなど、岡山の魅力を様々な形で全国に発信する参加型企画「岡山おもてなしプロジェクト」を展開しています。

応援団の皆様には、メルマガでイベント情報等を定期的にお知らせしていきますので、この機会にぜひご登録ください!



詳細はこちら

岡山県 公聴広報課

「岡山発見かるた」好評発売中!

「コロナ禍の今だからこそ、みんなで岡山のかるたをつくるんじゃ!」と全国に呼び掛けられたところ、寄せられた読み札候補は、なんと4516札!そこから厳選した44札には、誰もが知っているものから、知る人ぞ知るものまで、岡山の魅力がいっぱいです。

題字は、倉敷市出身の書家・中塚翠涛さんが、絵札等は、デザイナーユニット・COCHAEが手掛け、見るだけでも楽しいものに仕上がりました。

「岡山を知らない人には発見を、岡山に縁がある人には再発見を。」そんな願いを込めた岡山発見かるたは、令和3年12月から絶賛販売中。首都圏アンテナショップ「とつとり・おかやま新橋館」でも購入いただけますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。まるでぎびだんごのような可愛いパッケージが目印です!

オンラインショップでも販売中です。岡山の名産品のニューフェイス「岡山発見かるた」はいかがでしょう。



オンラインショップ

岡山県 対外戦略推進室

おかやま果物時間

in TOKYO

農林水産部では、情報発信力の高い首都圏の高級果物専門店や百貨店等で、県専用販売促進員に御協力いただき、店頭でのPR販売を行っています。この店頭でのPRでは、岡山の果物に縁のなかった方にも味わっていただけるようブドウのサンプル配布やブレゼント配布など、多くの方に魅力を知っていただく取組を行っています。

また、県ポータルサイトの「岡山クラフト果実」でも、県産果物のこだわりの技術や産地の旬の情報を発信するとともに、首都圏でのフェア情報もお知らせしています。今年も、マスカット・オブ・アレキサンドリアの出荷が始まる6月を皮切りに、情報発信やフェアを開催していくこととしております。ふるさとの味、くだもの王国おかやまの魅力一杯の桃、ブドウを多くのご友人の方にご紹介いただきますようお願いいたします。

https://okayama-craft-fruit.com/



ぶどうPR販売



ぶどうサンプル配布

岡山県 水産課

岡山の推し魚が決まる！

岡山を代表する魚と言えば、何を思い浮かべるでしょうか？ 沢山あるが故に、岡山と言えど、いつた魚もいない。そこで、季節ごとの「顔となる魚」を決めようと、令和3年8月から10月にかけて、「おかやま旬の魚総選挙」を実施しました。

全都道府県の1万5千人を超える方々から票が集まりました。関東地方からも、約二五〇〇人に投票を頂きました。ありがとうございます。この投票結果を基に、岡山県の季節を代表する魚が12種選定されました。

これらを中心に消費者や若い世代などに知ってもらい、食べてもらい、取り組を進めていきます。

「おかやま旬の魚総選挙」の投票結果

単位：票

季節	春		夏		秋		冬	
	魚種	得票数	魚種	得票数	魚種	得票数	魚種	得票数
1位	サワラ	12090	マダコ	10327	チヌ(クロダイ)	11370	カキ	14047
2位	マダイ	10652	アユ	8652	ママカリ	10598	イダコ	9342
3位	イカ(ペイカ・コウイカ)	8357	ハモ	7339	フタリガニ(ガザミ)	10014	ヒラメ	9036

とっとり・おかやま新橋館情報

●「とっとりおか春のパン祭り」開催

毎年春と秋の2回開催し、大好評をいただいている「とっとりおかパン祭り」。今年も県内から多くのパン屋さんに出店いただき、春のパン祭りを開催します。ふだん店頭には並ばないパンも多数登場しますので、是非お越しください。

さらに、「鳥取・岡山ベーカリースタンプラリー」も実施予定。たまったスタンプの数に応じた粗品のプレゼントや、今回はなんと抽選で〈備前焼のパン皿〉が当たります。

- ◆開催期間：2022年4月1日(金)～4月10日(日)
- ◆開催場所：1階イベントコーナー(店舗入ってすぐ)

●「ご当地食材を楽しめるフェアをどんどん開催！」

2階のレストラン「ももてなし家」では、ご当地食材で岡山を感じて、食べて、楽しめる特製メニューを提供しています。3月中旬から、テイクアウトメニューを併せて提供する「どどん井フェア～第三弾～」を実施中！日生産の牡蠣を使ったメニューや、デミカツ井などのご当地メニューが豊富に揃っています。

このほか、年間を通して様々なフェアを開催しています。晴苺(春)や白桃(夏)など旬のフルーツを使ったスイーツフェアは特に人気です。

詳細は当館のホームページやSNS等でご案内しております。是非チェックしてください！



☆ ファジアーノ岡山(J2リーグ2022) 首都圏での試合日程 ☆

開催日	名称	場所
5月8日(日)	VS ジェフユナイテッド市原・千葉	フクダ電子アリーナ(千葉県千葉市)
6月25日(土)	VS 水戸ホーリーホック	ケーズデンキスタジアム水戸(茨城県水戸市)

☆ おかやまマラソン2022 について ☆

新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となった「おかやまマラソン」ですが、感染対策を徹底し今年こそは開催できるよう力を尽くします。故郷の地で汗を流してみませんか？

2022年11月13日(日) 8:45 スタート

募集定員12,000人 [岡山市民県民優先枠] 4,000人
[一般枠] 8,000人

ランナー募集期間 [岡山市民県民優先枠] 4月6日(水)～4月13日(水)予定
[一般枠] 4月14日(木)～5月16日(月)予定

※定員を超えた場合は抽選を行います。

詳細は下記ホームページをチェックしてください。

公式HP
https://www.okayamamarathon.jp/



◇◇◇ 吉備クラブ通信 ◇◇◇

吉備クラブは、岡山県出身の各界で活躍されている先輩方と若い世代の交流の場として、年3回開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月以降、長い間、開催を見送っておりました。

去る令和3年11月26日(金)、およそ1年9か月ぶりとなる第44回吉備クラブを開催しました。コロナ禍の中での開催となったので、ご参加の皆様には、まず、会場で食事をとっていただき、講演の部、交流の部に分けて実施しました。

講演の部では、宇都宮 啓氏(医療法人社団体育会副理事長)を講師にお招きし、「高齢時代における地域社会の方向性」と題して、医療・介護等の支え手・受け手の関係から、支え・支えられる共生社会へと、今後、地域社会が目指す方向性について、ユーモアを交えながら、わかりやすくお話しいただきました。続く交流の部では、小長 啓一代表世話人の発案で、いつもと趣向を変えて、約50名の参加者の皆さまから、お一人ずつ近況報告をいただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございます。



講演の様子



近況報告の様子

次回の吉備クラブは令和4年7月頃の開催に向け、準備を進めてまいります。詳細が決まり次第、改めて御案内させていただきます。皆様のお越しをお待ちしております。

☆☆☆ 女性部だより ☆☆☆

東京岡山県人会女性部は、平成18年に発足した岡山が大好きな女性の集まりです。

総会・交流会、輝く女性に学ぶセミナー、故郷岡山旅行、東京湾ナイトクルーズのクリスマス会・納会と、年間を通じて様々なイベントを実施しております。

令和2年度に続き、令和3年度も、新型コロナウイルスの影響で、ほとんど活動ができませんでした。令和4年度以降は、コロナが落ち着き少しでも活動ができればと思っておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

《令和4年度の活動計画(案)》

イベント名	日程
総会・交流会	5月
岡山旅行	7月
クリスマス会・納会	12月
セミナー	日程調整

クイズに答えて「里海米」が当たる！ 正解者の中から抽選で10名様に「里海米」(2合)をプレゼントいたします。

◆クイズ

Q:「里海米」は、瀬戸内海でとれた“あるもの”を肥料として有効活用し、田んぼにまき育てられた岡山の良質なお米です。その“あるもの”とは何でしょうか？

- ① のり ② 海水 ③ 牡蠣の殻



瀬戸内
かきがら
アグリ

「里海米」とは？

「里海米」は瀬戸内かきがらアグリ事業の一環で誕生した、おかやまの良質なお米です。カルシウムや良質なたんぱく質、天然のミネラルが豊富に含まれる牡蠣の殻を肥料として、田んぼにまき育てられています。本来廃棄物として処分される牡蠣の殻を有効活用することで、地域の環境保全に取り組むとともに、里海再生の一助になることを目指しています。

応募方法

クイズの回答(①～③)・郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・電話番号・メールアドレス(任意)を明記のうえ、郵便はがきもしくはメールにてご応募ください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。賞品の発送は応募締切日より約2週間後を予定しております。

宛先 締切日

下記事務局「プレゼントクイズ応募」係
4月20日(水曜日)
メール受信 又は 郵便ハガキ消印有効

事務局からのお知らせ

■新規会員の募集

県人会では、新しい会員を随時募集しています。

岡山県出身者や勤務経験等のゆかりのある方のほか、岡山県を応援する方など入会の希望がありましたら、事務局までご連絡ください。東京岡山県人会ホームページからも入会申込みができます。
年会費は2千円です。

■住所等変更手続

県人会では、会員の皆様に観光、特産品等の情報提供や、会員名簿の配付などを行っています。住所などが変わられましたら、事務局まで必ずご一報ください。

■メールマガジンの配信 (会員以外もOK)

ふるさと岡山に関するイベントの情報等を配信しています。登録(変更)を希望される方は、①氏名、②住所、③電話番号及び④Eメールアドレスをメール又はファックスで事務局までお知らせください。

連絡先

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館10階

岡山県東京事務所内

東京岡山県人会事務局

TEL: 03-5221-9080

FAX: 03-5221-9083

Eメール: tokeninkai@pref.okayama.jp